

一 支隊ハ「三」號演習日ヲ實施セラル
 二 部隊ハ演習實施ノタメ速ニ恩納村ニ轉移セントス
 三 各隊ハ設營ノタメ各一小隊ヲ差出シ十七日十七時準備
 四 松崎少尉ハ前項ノ人員ヲ指揮シ十七日夜間行動
 五 依リ恩納村ニ至リ部隊主力宿營ノタメ準備
 六 又ニ
 七 細部ニ関シハ別ニ指示ス

四遊作命第十號

第四遊撃隊命令

一月十七日
名 護



細部ニ関シハ別ニ指示ス

五、護令地隊ハ當分、間現任務ヲ續行スル

六、主力出發後第一中隊ヲ下士官以下十五名ヲ感

遣シ資材糧秣輸送ニ任ゼシム

七、予ハ部隊主力ト共ニ恩納村ニ前進ス

第四遊撃隊長 若波 大尉

下達法各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳達後印刷交付

報告(通報)先 支隊本部 村上部隊

轉移計畫

第一 方針

部隊ハ極力企圖ヲ杜絶シ一月八日夜恩納村ニ前進シ

速ニ轉移ヲ完了ス

第二 要領

一、設営隊ヲ先發セシメ安富祖部落南側兵舎ヲ應急

的ニ補修整備シ速ニ人員ヲ轉移ヲ準備セシム

二、主力前進ト共ニ最モ速ニ擾息設備ヲ概成シ資材

糧秣ヲ轉移ヲ準備ス

長隊
20

佐作命 第五號
 第一 大隊命令
 國頭支隊ハ一月二十日宇作命 第十三號ニヨリ
 豫備糧秣ヲ於此地ニ於テ揚陸セラル
 大隊ハ他隊ト共ニ一部兵力ヲ以テ右揚陸作業
 ニ任セントス
 各中隊ハ左記兵力ヲ差出シ中島並計大尉
 指示ヲ受ケムヘシ
 左記
 兵長若シ上等兵以下 五
 右同
 右同
 右同
 右同
 右同
 揚陸実施日時及場所

五、輸送要領ノ細部ニ関シテハ別紙要領ニ依ル
 六、轉移完了ハ二十日ト豫定ス
 四名護ニ於テハ殘置人員ヲテ積載セシメ又安富祖
 二於テハ設營隊及主力到着後ハ別ニ示ス人員ヨリ
 卸下集積ス
 輸送ス
 毛布ハ移動人員ト共ニ積シ自動車又ハ馬車ニ依リ
 輸送ス
 兵糧被服糧秣ハ自動車ニ依リ輸送ス
 其他

音	連	吉	訓
○	○	○	○

回遊作命令第十一號

第四遊撃隊命令

- 一 支隊ハ軍ノ主作戰ヲ容易ナラシムル爲一部兵力ノ配備ヲ変更ス
- 二 部隊ハ恩納岳ヲ中心ニ轉移シ國頭郡南部及ビ中頭郡北部ニ遊撃戰ヲ準備セントス
- 三 各隊ハ別紙第一作業計畫ノ大要ニ基キ先ズ速ニ戰鬥ノ爲ノ準備作業ヲ實施スベシ
- 四 中島少尉ハ轉移ニ伴フ兵器彈藥ノ輸送補給ニ任ズベシ
- 五 畑少尉ハ轉移ニ伴フ通信連絡施設ノ設備ニ任ズベシ細部ハ別ニ指示ス
- 六 余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊撃隊長 岩波大尉

一九四一。一。一三。
安富祖

訓令
第一
一 支隊ハ軍ノ主作戰ヲ容易ナラシムル爲一部兵力ノ配備ヲ変更ス
二 部隊ハ恩納岳ヲ中心ニ轉移シ國頭郡南部及ビ中頭郡北部ニ遊撃戰ヲ準備セントス
三 各隊ハ別紙第一作業計畫ノ大要ニ基キ先ズ速ニ戰鬥ノ爲ノ準備作業ヲ實施スベシ
四 中島少尉ハ轉移ニ伴フ兵器彈藥ノ輸送補給ニ任ズベシ
五 畑少尉ハ轉移ニ伴フ通信連絡施設ノ設備ニ任ズベシ細部ハ別ニ指示ス
六 余ハ安富祖本部ニ在リ

下達法

口達後印刷交付

報告(通報)先

支隊本部 第一八八三部隊

別紙

第一作業計畫ノ大要

部隊ハ先以速ニ恩納岳北方谷地ニ遊撃基地ヲ設定シ
不時ノ戰鬥ニ應ジ得ル態勢ヲ確立シ後恩納岳ヲ
中心トシテ遊撃據点ヲ設定ス

要領

- 一 先ス主力ヲ以テ恩納岳基地ヲ概成ス
- 二 戰鬥各期ヲ通ジ遊撃基地ヲルモノニシテ部隊主力ノ長期
棲息ヲ可能ナラシムベキモノ
- 三 上空ハ勿論地上視察ヨリ敵ニ離隔シタル位置ニ棲息
設備並ニ兵器彈藥糧秣ノ集積ノ為ノ設備ヲ構築
ス

此作業ハ二十日ヨリ八月間トシ之ヲ概成ス
次に左ノ如キ遊撃據点ヲ設定ス

三三三六高地據上吳 (第一中隊)
 恩納岳據上吳 (第二中隊)
 石川岳據上吳 (第三中隊)

- 一 地下潜在施設トシ約一々中隊ノ棲息ヲ可能ナラシム
- 二 教育ノ爲ノ警備召集ニ引續キ警備召集ヲ實施シ全カヲ以テ作業ヲ續行ス
- 三 作業開始ト同時ニ來年度ノ待命予定者ノ準備並ニ教育ヲ準備ス
- 四 中頭郡方面ニ於ケル秘密遊撃戰ノ根幹トナルベキ召集及ビ教育ヲ準備ス
- 五 遂次第三作業ノ爲ノ準備ヲ遺滅ナラシム

平作命第七號

平山隊命令

一月三十日〇七三〇
 陸軍

- 一 中隊ハ火砲ノ機能ヲ点検スルト共ニ砲手ヲシテ發射時ノ感覺ヲ知得セシムル目的ヲ以テ試驗射撃ヲ實施セントス
- 二 戰砲隊ハ本二十日ヨリ整備訓練並ニ射撃準備ニ任ジ二十四日〇八〇〇迄ニ邊石地西側台地ニ於テ發射準備ヲ完了スベシ
- 三 砲車位置、首線方向、照準点其ノ他陣地進入ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス
- 四 本期間邊石地ニ宿營シ給養ハ現品携行自炊ニ依ルベシ
- 五 指揮小隊ハ二十日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後戰砲隊ノ陣地設備ヲ援助スベシ
- 六 射撃時ニ於ケル觀測所ハ邊石地分校西方台地トシ配置並ニ設備ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス
- 七 中隊行列ハ二十日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後新行橋兵器

210 試射

2. 天井ハ石材ノ工ヲ更ニ茅葺キトシテ防水並ニ偽装ニカム
 3. 床ハ資材ノ許ス限リ石床ノ工ヲ更ニ板張リトス
 4. 各個々ノ距離間隔ハ三〇米ヲ基準トス

- 三 設置箇所ハ城山東南側ヨリ北ニ附子2ノTAs MIsノ順序トシ區域ハ現地指示ノ如シ
- 四 天井用石材ハ生森少尉ヲシテ分配セシム
- 五 予ハ地區隊本部ニ在リ

伊江島地區隊長 井川少佐

下達法 各隊長ヲ集メ口達後印刷交付
 報告先 支隊本部

三遊作命第九號

第三遊擊隊命令

仲尾

一 四号演習ハ順調ニ進行中ナリ

二 部隊ハ速ニ訂言岳據点ニ構築セトス

三 菅江少尉ハ各隊兵力ヲ指示シ別紙陣地構築本訂画

六 網ニ基キ一月三十一日迄ニ據点ヲ構築スベシ

四 一月十九日正午迄仲尾迄ニ爾後爾後屋名座部隊

本部ニ在リ

第三遊擊隊長

村上若夫

下達法 菅江少尉ニ口達印刷交付

報告(通報)先 國支三遊

一月十六日
 仲尾

陣地構築工事計画の大綱

第一方針

絶対企圖ヲ秘匿欺騙ニシテ遊軍據点ヲ用テ此ニ編成構築ヲ爾後速ニ伏撃干地区及全域ニ亘リ潛在據点ヲ構築ス

第二美施要領(順序)

- 一 屋名座地区撤收ニ伴ヒ主刀ヲ眞喜谷迄ニ連テ遂次到着スル兵カヲ以テ遊撃干基地及秘密遊撃干據点ヲ構築ス
- 二 全カヲ以テ遊撃干基地ノ構築ニ主刀ヲ以テ秘設倉庫ヲタヨ地区遊撃干據点有カニ一部ヲ以テ又志岳ニ別進遊軍據点ヲ中更ニ前部ヲ以テ各讓岳中継遊軍據点ヲ構築ス

各甲隊毎

四 伏撃地区(或ハ遊軍據点)ノ設定

五 潛在據点秘設連絡所等ノ構築

第三 築城、工事計画

一 遊軍基地

遊軍隊ノ後衛陣地ナル故ニ深山幽谷ニ設テ絶対企圖ヲ秘匿欺騙ナル要領ノ諸施設ハ完備セシム